

# 第8回 八幡市地域公共交通会議 議事録



令和5年8月25日（金）午後2時～  
八幡市役所 会議室5-1

## 第8回八幡市地域公共交通会議（議事録）

日 時	令和5年8月25日（金） 午後2時～午後4時
場 所	八幡市役所 会議室5-1
出席者	委員・オブザーバー 28名 傍聴者 10名 事務局 6名

### 1 開会

### 2 新任委員の紹介

※別紙委員名簿参照

### 3 会長あいさつ

### 4 報告事項

#### (1)八幡市地域公共交通会議の概要について

【事務局：佐野】

- ・ 地域公共交通会議は、地域のニーズに応じた多様な形態の運送サービスの普及を促進し、旅客の利便を向上させるため、地域の実情に応じたバスの運行の態様及び運賃・料金、事業計画等について、地方公共団体が主宰者となり、地域の関係者による合意形成を図る場として、道路運送法に位置づけられている
- ・ 八幡市の地域公共交通会議は、道路運送法の地域公共交通会議と地域公共交通活性化及び再生に関する法律の法定協議会の性格を合わせもつ協議体
- ・ 構成員は道路運送法施行規則および地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づいて構成。今回から、学生や子育て世代の方も参加している
- ・ 会議の主な議題は、路線の休廃止、区域や運賃の設定とし、これらの合意形成を図る
- ・ 自家用有償運送事業の登録に向けた協議も地域公共交通会議が行う
- ・ 交通事業者や他市町と情報共有を図る場でもある
- ・ これまでに全7回開催し、地域公共交通計画の策定、策定後は計画の進捗について協議し、その他には橋本西山地域オンデマンド交通の事業を認めるか否かについて協議した
- ・ 今後は、コミュニティバスやわたのルート・ダイヤ再編の検討について協議する予定

## (2)市内公共交通の現状について

【事務局：佐野】

- ・ 鉄道については、北に京阪本線の石清水八幡宮駅と橋本駅、西に樟葉駅、南にはJR学研都市線の松井山手駅がある
- ・ 樟葉駅は、特急電車が停車する駅でもあり、京都市内や大阪市内へ移動するには大変利便性が高く、市民の利用も多い
- ・ バスについては、京阪バス、京都京阪バスが運行しており、鉄道駅を中心に市街地のほぼ全域をカバー
- ・ 男山地区や美濃山・欽明台地区を起点とする路線は、八幡市内の駅ではなく、近隣市町の樟葉駅や松井山手駅行きで設定されている
- ・ コミュニティバスは、路線バスを補完する形で橋本東山本から市民体育館の全長 16.6 kmを 1 日 20 便で運行
- ・ 利用者は、運行当初から順調に増えており、令和元年度は 1 便あたり 14 人が利用
- ・ コロナ禍により、一時利用者減少に転じましたが、現在はピーク時の 9 割 5 分程度まで回復
- ・
- ・ タクシーについては、京都第一交通やMKタクシーの営業区域となっており、市内全域でタクシーが呼べる環境にある
- ・ 鉄道駅から半径 500m 以内、バス停から 300m以内に市街地があり、八幡市には公共交通空白地と呼ばれるところはない

## (3)幹事会について

【事務局：佐野】

- ・ 公共交通会議設置要項第 8 条では、幹事会を置くことができると規程している
- ・ 公共交通事業者、行政関係者で構成し、大谷大学講師の野村先生にも参加いただく予定
- ・ 幹事会において、議題を協議・調整した後、本会議にて協議する流れ

## (4)橋本西山地域オンデマンド交通について

【事務局：佐野】

- ・ 橋本地域、西山地域内の移動を支援する自家用有償運送事業

- ・ 運行主体は NPO 法人道しるべ
- ・ 対象者は利用登録された地域の方
- ・ 運行区域は、橋本地域及び西山地域内に限定
- ・ 利用料金は 1 回 400 円
- ・ 運行曜日は月曜日から土曜日、但し日曜、祝日はお休み
- ・ 実証運行を 5 回実施
- ・ 京阪バス、京都京阪バス及び京都府タクシー協会と確認書を締結
- ・ 令和 4 年 10 月、地域公共交通会議で同意書を交付
- ・ 7 月 13 日、運輸局への登録を完了
- ・ 7 月 25 日、サービスを開始
- ・ 今後、地域公共交通会議において実績を報告していただく予定

#### (5)山手幹線渋滞対策について

【事務局：佐野】

- ・ 平成 23 年以降、大型商業施設を利用する車の影響により、周辺道路が土休日を中心に慢性的に渋滞
- ・ 渋滞の影響により、路線バスは最大 5 時間半の遅延が発生
- ・ 八幡市は、渋滞の解消を目的に、大型商業施設と渋滞対策について協議を行ってきた。大規模小売店舗立地法に基づく届け出内容の確認、警備員や店舗スタッフの増員、駐車場の効率的な運用、会員の皆様への渋滞情報の発信、近隣住宅の交通安全対策の取り組みを商業施設に進めてもらった
- ・ 現在、平日の渋滞はほぼ解消。土休日も解消の傾向が見られるものの、雨天時や朝方に渋滞が発生
- ・ 今後は、門真市に大型商業施設が開店することにより、八幡市の大型商業施設の来客は減少する見込み。集客の状況を見ながら、引き続き、同施設と協議する予定

#### (6)バスバックヤードツアーについて

【事務局：佐野】

- ・ 市内在住の 3 歳から小学校 2 年生の児童を対象に、京都京阪バスの事業所を見学
- ・ 実施日は令和 5 年 8 月 22 日
- ・ ツアー内容は、バス車両見学、点呼場見学、バスに乗車したままの洗車機体験、整備工場見学
- ・ 参加人数は 24 名
- ・ 宇治茶バスと復刻バスも乗車体験

- ・ アンケートでは、バスに対する興味関心が沸いたとの意見があり、利用促進につながったと考えている

#### 【石川委員】

- ・ 当日は比較的年齢が低い子供たちが多かったことから、弊社の特別仕様のバスを揃え、車両の洗車や整備工場でのリフトアップを見学してもらい、楽しんでいただけたかなと思います
- ・ 親御さんには、バスの安全や環境に対する取り組みについて知っていただいて、公共交通におけるバスの役割について理解を深めていただく良い機会になった

#### 【井上会長】

- ・ 公共交通に早めに慣れ親しんでおくというのが重要
- ・ ツアーの写真をドライバー募集とかの宣伝に使わせていただくのも有効ではないか
- ・ こういった取り組みを広げていくのもこの会議の重要な役割

## 5 情報共有

### (1)公共交通事業からの情報提供

#### 【前田委員：京阪電気鉄道株式会社】

- ・ 明日から京阪電車のダイヤを変更（R5.8.26）
- ・ 今回はあまり大きな変更ではない
- ・ インターネットや駅の時刻表を確認いただくなど、明日以降、電車に乗られる時はご注意ください
  
- ・ なお、利用客については、観光目的の利用者は回復しているが、通勤目的の利用者はコロナ前の85%
  
- ・ 現在、技術の職員や乗務員を確保するのが困難な状況

#### 【壇 委員代理：京阪バス株式会社】

- ・ 路線や系統の維持が困難になっている
- ・ 現在、利用者コロナ前の90%程度まで回復
- ・ 運転手不足は深刻
- ・ 観光路線や高速バスから事業を縮小させていく

#### 【石川委員：京都京阪バス株式会社】

- ・ 8月15日、台風7号の影響に伴って終日計画運休を実施

- ・ 車両とか施設に被害はなし
- ・ 弊社の方でも乗務員不足が危機的な状況

#### 【上田委員：京都府タクシー協会】

- ・ 令和5年5月1日料金改定を実施
- ・ 第一交通の六地藏営業所が、運転士不足のコロナ禍による収支の悪化で8月に閉鎖

### (2) オブザーバーからの情報共有

#### 【枚方市】

- ・ 樟葉駅の駅前広場を整備予定。天然の芝生広場整備、壁面緑化、屋根付きのベンチ設置など
- ・ 9月工事着手、年度内の完了予定
- ・ ほこみち制度の活用を検討し、民間の事業者が駅前広場で収益活動も含めたイベント活動などもできるようにし、さらなる賑わいの創出に繋げたい

#### 【京田辺市】

- ・ 路線バスポイント付与事業、交通系ICカードにポイントを付与するもの。今回、小学生以上の市民を対象に一人当たり2000ポイントを付与
- ・ 路線バスの利用無料の日を実施。年度当初から1日加えて実施することが決定
- ・ 市内運行あるいは市内に事業所があるバス事業者、法人タクシー事業者、個人タクシー事業者に対して燃料価格高騰支援を行う

#### 【久御山町】

- ・ 5月19日に第1回目の地域公共交通会議を開催
- ・ 久御山高校の生徒を対象に通学手段に関するアンケート調査を実施
- ・ 小学生を対象にした路線バスの乗車体験を検討していきたい
- ・ バス停の上屋の整備を検討していきたい
- ・ 久御山町地域公共交通網形成計画が今年度で最終年度。課題の抽出、効果検証をどういった方向性で進めていくのかを協議会の中で検討していきたい

### (3) 京都運輸支局からのお知らせ

#### 【木原委員：京都運輸支局】

- ・ 運転士不足についてお話しします（いわゆる2024問題）
- ・ 2024年4月から働き方改革完全実施により、自動車運転者の残業時間を960時間がリミットになる
- ・ 一人当たりの運転手が担当する時間が減るということは、現状を維持するた

- めには運転士を増やす必要がある。しかし、運転士の確保が難しい
- ・ 時間が減る＝給料が減ることに繋がるので、今の運転士が逃げてしまう
  - ・ 運転士への需要が低く、有効求人倍率、2.38 倍。一番ひどい時は 3.05 倍になる
  - ・ 旅客運送事業における運転士の年齢構成は、60 歳以上の方が半数以上で高齢者が占める。これにより、乗合バスの運転士の数は、平成 30 年ピークで、全国で 1 万人くらい減少し、タクシーの運転士の数は、10 年間で 10 万人減少
  - ・ 車の方は正直、余っているが、それを動かすだけの運転士がいない状況
  - ・ 大型二種免許の保有者も減少していて、5 年前と比較すると 10 万人減少

⇒働き改革により、1 人あたりの労働時間に制限が加えられる他、業界の構造では高齢者が多くを占めるため、退職する方も多く、一方、若い世代の大型二種保有率が低いことから、働ける人も少ないため、運転士不足に拍車をかける

## 6 その他

### ■市民委員からの発言

#### 【松石委員】

- ・ 一般の利用者に何を期待されているのかというところをお聞きしたい

#### 【事務局：田岡課長】

- ・ 出来る限り、積極的に公共交通をご利用いただきたい

#### 【前田委員：京阪電気鉄道株式会社】

- ・ 週に 1 回鉄道、バスに乗っている方は、もう 1 回乗ってください。それが鉄道会社やバス会社にとっては一番ありがたいことです

#### 【松石委員】

- ・ 交通費として、公共交通に毎月 1 万円ほど支払っており、私自身これ以上はしんどい
- ・ 周囲は、自身より高齢の方でも運転しており、公共交通には乗らないという印象である
- ・ 子どもだけではなく、70 歳以上向けを対象した対策も必要ではないか

#### 【角谷委員】

- ・ 今後、労働者を確保するために注力していくことや、努力していることを聞かせてほしい

#### 【朝田委員：京阪バス労働組合】

- ・ 人件費を抑えて収益を確保しようとするのが、労働者にとって一番敬遠される状況
- ・ 労働者側の立場からも、このままではだめですよ、業界自体成り立たなくなりますよと常々言っている
- ・ 昼間は空き時間になり、まったく賃金に跳ね返らない。そういうところが敬遠されている。拘束時間の割には賃金にならないと思われている
- ・ では昼間の仕事をどうやって作っていくんだということですが、やはり昼間乗っていただくということが大事。また行政の方にも考えていただきたいのは、昼間のバスの運行、お年寄りの足を考えると、走らせている分補助を出し、運行を支援する制度を考えてほしい
- ・ 会社として収入が増えれば、その分賃金や労働条件に跳ね返すこともできますし、一番の乗員不足解消になるかなと思う
- ・ あと、カスタマーハラスメントという問題が最近多く、社会がもっと寛容になっていただくというのも、この仕事を敬遠する人を減らすことができる1つのポイント

#### 【中辻委員】

- ・ インスタとか、ツイッター改めXとかで発信すると効果的と思う。発信してほしい内容はありますか

#### 【上田委員：京都府タクシー協会】

- ・ 第一交通産業グループでは、女性にも働きやすい環境作りとして、女子会を開催している。他にも健康に関する講習会や討論会を実施し、業界誌やネットでも宣伝している
- ・ 二種免許の特例講習があり、一種免許を1年以上取得していたら、特別な講習を受けることによって、22歳以下の方でも二種免許が取得できる。その講習により、22歳男性の方がタクシー乗務員として今、育っている
- ・ 28歳の女性の方が、お子さんを育てながらできる職業として、うちの事業所を選んでいただいている
- ・ タクシーの場合、始業時間と就業時間は決まっているが、仕事時間の中で自分の時間を使ってもらえる
- ・ 大阪では第一交通で保育園を作ったりもしている
- ・ 体調不良やお子さんとの関係で急に休まないといけない時に休みやすい業界である

#### 【岡橋委員】

- ・ 子育てされている方が公共交通を利用しやすいようになればと思う



- ・ バスのバックヤードツアー、バスを身近に感じるイベントはすごくいい機会。ただ、アンケートでは、普段バスを利用されている方の参加が多く、普段からバスに興味のあるお子さんが参加されたのかなと感じた
- ・ 就学前施設としてこのような楽しいイベントがあることとか、保護者の就労先の一つとしてこのような場があることをもっと発信できたらなと思うのですが、就学前施設に何か求めることがあれば教えていただきたい

【事務局：田岡課長】

- ・ 周知の方法として、ホームページや広報誌を活用したが、就学前施設に直接案内するという形もあったのかなと少し反省
- ・ 来年度以降実施する場合、就学前施設や学校というところにも案内したい

## 7 基調講演

【井上会長】

- ・ まず地域公共交通会議の役割は皆で知恵を出し合うこと。要望の場ではなく、自分ごととして何ができるかを考えてほしい
- ・ 今は補助金で何とかなる時代ではない
- ・ 地域公共交通会議では、委員一人ひとりが周囲の方が持つ公共交通の誤解を解いていただきたい。補助金があっても運転士や整備士が不足して走れないことや行政の補助にも限界があることなど
- ・ 早い目に公共交通使う習慣をつけてください
- ・ 公共交通の利用が運動になり、健康寿命が延びていきます。お友達や周囲の方々に「公共交通乗った方が長生きするわ」と伝えてください。学生の皆様方、「公共交通使っているだけで、実は私たち健康な生活しているのね」とインスタ上げてくれるとうれしいです
- ・ またバスを待ってる間の時間をどうやって楽しむか、時間を過ごせる場所を見つけることも重要です。バス待ち環境の整備というのは、これから重要

## 8 閉会

■田中委員の講評

【田中委員】

- ・ 市民の公共交通に対するムーブメントをどう広げていくかがとても大事
- ・ 個別策定されている計画を公共交通という枠の中で、もう一度見直す必要がある
- ・ 働き方の見直しとして、パラレルキャリアのように兼業として運転士の仕事を行うということがあっても良いのではないか
- ・ 運転手募集のポスターが男性のイラストばかりなので、女性も出て来てほし

い。運転手と言うのが男性ばかりじゃなくて、私も含めて女性が担う仕事の選択肢の一つとしてどんどん増えていけばいいと思う

■井上会長の講評

【井上会長】

- ・ 皆様方が公共交通を使ってる中で、お気づきの点を発表いただいたり、この街の交通をどうしていったらいいか、かなり知恵出しをしていかないといけない
- ・ 日々の生活の中での気づきが一番勉強になりますので、忌憚なく、この会議で「こんなこと教えてほしい」とか、どんどんいろんな意見を出してもらったらいいと思います